

長崎いのちの電話だより



2016(平成28)年
12月10日
社会福祉法人長崎いのちの電話

〈相談電話〉 **095-842-4343** 年中無休
(第1・第3土曜日は9:00～翌9:00) 9:00～22:00
全国一斉フリーダイヤル(毎月10日 8時～翌8時) 0120-738-556
自殺予防 いのちの電話

(発行人)中根 允文 (編集)広報委員会
〒852-8799 日本郵便長崎北支店 私書箱45号
(事務局)電話 095-843-4410
FAX 095-844-3600
ホームページ
<http://ngsk4343.sakura.ne.jp>

早いもので「長崎いのちの電話」は、この11月に開局22周年を迎えました。関係者の一員として心からお慶びを申し上げます。つい2年前、20周年記念の諸事業の成功に向けて役員も相談員さんもまさに総出で走り回っていたのが、今となっては懐かしく思い出されます。

私は、活水同窓会会長をしていた関係で、前理事長で活水女子大学教授の長尾博先生のお招きで「長崎いのちの電話」とのご縁を得ました。2007年に評議員として参加させていただき足かけ10年になろうかとしております。

創設期からこれまでは、様々なご苦勞があられたことかと思いますが、携わって来られました全ての方々が知恵と力を結集されて乗り越えて来られた、と伺っております。また、外部からご寄付・ご支援を頂きました多くの皆様がこの活動を支えて下さったことは、今に続くことであり心から御礼と感謝を申し上げたいと存じます。

評議員就任当初は、「いのちの電話」の理念などは頭では理解しているものの具体的な活動内容には疎く、2012年に理事(13年から副理事長)を仰せつかりましてから、毎月開催の「運営協議会」に出席するようになり、また、相談員さんと折に触れ親しく接するようになって次第に詳細を知るとともに、如何に大変な活動を続けておられるのか、改めて感嘆・感銘を覚えるようになりました。普通ではなかなかできない素晴らしい奉仕活動をしておられることに深く感動しております。

ところが、今、相談員さんの人数が不足しており、私としても大いに心配しているところです。ちょうど1年前の『たより・46号』で井石八千代理事さん(ながさき女性活躍推進会議共同代表)も「相談員さんの確保は大きな課題の一つ。是非お一人でも多くの方にご理解・ご支援をお願いしたい」と記しておられましたが、私も同感で、尊い“いのち”を守る活動を続けるこの会の末永い存続のために、多くの方にこのボランティア活動に参加していただきたいと切に願っております。

さて、「長崎いのちの電話」の相談員さんは、相談員になった後も継続的に研修を受け続けます。細やかな感性は、やはり磨き続けないと錆びつくのかもしれませんが、相談活動以外に相当の時間を費やす継続研修を欠かさないその姿勢にも頭が下がる思いです。

その研修のひとつとして、春と秋には公開講演会が開催されますが、相談員さん以外にも門戸を開くこの公開講演会は、いのちの電話の啓蒙活動に止まらず、キラリと光る市民文化活動の一環であると思っております。私は、この春と秋の講演会だけは何とか時間を工面して聴講するようにしています。

今秋の開局22周年記念講演会は、淀川キリスト教病院理事長の柏木哲夫先生に講演いただきました。

先生は、日本でいち早くホスピスを提唱され、私も、一度は先生の病院を訪れたいと思っていたときがありましたが、実現できないまま、このたび初めてお目にかかることができとても嬉しく思いました。

講演内容はこの『たより48号』の3・4面に抄録が掲載されていますので、皆さんにも是非お読みいただきたいと思いますが、『癒しのユーモア～いのちの輝きを支えるケア～』との演題で、川柳を引き合いに出され、とても面白くおもしろくお話になられ「笑う門には福きたる」という思いで一杯になりました。

病に臥せている人には、薬よりも注射よりも心のケアすなわちユーモアが大事な癒しであることを教えていただいたように思いました。ただ、私自身はユーモア(人間味のある上品なチャレ)を語ることができず、とても残念であります。これからは医療・介護の中で、癒しのユーモアの語り部として活動して下さる方のバックアップに力を注ぎたいと思っております。

春秋の講演会で、如何に触発されることが多いかを知っていただきたく、最後はかなり個人的なことを書いてしまいました。ご容赦下さい。

来年4月からは社会福祉法人制度が大きく変わることですが、制度が変わろうと、「長崎いのちの電話」の掲げる理念は不変です。私も力の及ぶ限り、このボランティアによる電話相談活動に関わっていきたいと思います。皆様のご支援・ご協力を切に願って筆を擱きます。

■おしづち れいこ 略歴■

- ・押渕クリニック 院長(1979～現在)
- ・長崎県更生保護女性連盟会長
- ・長崎県更生保護女性会会長
- ・長崎県防衛協会女性部会長
- ・「長崎新老人の会」代表



副理事長
押 渕 礼 子

柏木哲夫先生をお迎えして ～開局 22 周年記念～ 公開講演会（自殺防止啓発事業）開催

「長崎いのちの電話」は1994年11月5日に開局しました。これを記念して毎年11月に「開局記念公開講演会」を開催しておりますが、22周年記念の今年は、柏木哲夫先生（淀川キリスト教病院理事長、日本ホスピス・緩和ケア研究振興財団理事長）を講師にお招きして、11月14日に長崎大学医学部良順会館で開催しました。

『癒しのユーモア ～いのちの輝きを支えるケア～』との題で、日々「死」と向き合う先生ならではのお話は、笑いの絶えない中に含蓄溢れ多くの示唆に富む内容でした。3・4面にその講演抄録を掲載しました。



『癒しのユーモア』と題し、講演中の柏木先生

相談員永年活動表彰

公開講演会終了後、同会場で、電話相談ボランティアとして20年（1名）・15年（2名）・10年（5名 ※欠席者2名には後日）の節目を迎えられた相談員に中根理事長から表彰状が贈られました。

受賞者の皆さんは、中根理事長と講師の柏木先生に挟まれて記念撮影。会場の仲間からは祝福と共に羨望の声が上がっていました。

～「いのちの電話」は皆様からの ご寄付等で運営が賄われています～ 浄財ご提供に感謝

28年度上期の賛助会費納入の皆様とご寄付者の名簿を、感謝の念を込めつつ、5・6面に掲載いたしました。また、本年度下期にも、MDRT ソニー会様を始め各方面からお心の籠った浄財を多数頂戴しております。《写真下は、MDRT ソニー会様からの寄付金贈呈式に臨む田村事務局長（右）》

長崎いのちの電話は、これらの尊い浄財によって電話相談活動の運営が賄われています。紙面を借りて御礼を申し上げます。



～平成 28 年 11 月改選～ 役員・評議員のご紹介

社会福祉法人長崎いのちの電話の理事・監事・評議員は、本年11月18日に改選期を迎えました。

来年4月1日からの改正社会福祉法人法の施行により、評議員会が法人の意思決定機関、理事会が執行機関となり、その選任方法も大きく変わるなど、社福法人制度が大きく変わります。

これらを踏まえ、本年の改選期では、理事・監事・評議員全員の再任となりました。また、理事長ら代表権のある理事らも全員重任となりました。

役員等の一覧は次の通りです。（敬称、肩書省略）

【理事】 ※印は、代表権ある理事です

中根 允文	(理事長 ※)
押 瀧 礼子	(副理事長 ※)
福 島 建一	(副理事長 ※)
田 村 繁幸	(事務局長 ※)
川 崎 澄雄	澤 宣夫
井 石 八千代	三 矢 泰彦

【監 事】

柴 田 芳男	中 村 尚志
--------	--------

【評議員】

古 賀 義	中 村 住代
前 田 和明	山 田 和子
下 條 文摩左	竹 内 款一
松 尾 みち子	井 石 八千代
川 崎 澄雄	谷 口 フミ子
松 本 修	富 永 澄江
中 村 郁子	石 丸 栄子
砂 川 久子	平 川 厚子
高 村 淑子	

開局 22 周年記念講演会

癒しのユーモア いのちの輝きを支えるケア



講師

柏木 哲夫 先生

(淀川キリスト教病院理事長)

日本に初めてホスピスを導入された柏木先生は、1,000名くらいの患者さんを看取ったときに仕事を続けていくのが難しくなるほどに心が重くなられたとか。ある日、新聞の川柳欄を見てぷっと笑った途端、少しだけ軽くなったという経験をきっかけにいろんな文献を読んで、笑いやユーモアはかなり学問的に研究されていることを知り、奥が深いと思われたそうです。ご講演は、会場が笑いに溢れ、深く心に落ちてきました。以下はその内容を抜粋要約したものです(文責/編集部)。講演の詳細と資料は、長崎いのちの電話 HP に掲載しますのでご参照ください。

ユーモア (Humor) の語源はフモーレス (Humores ラテン語で体液の意) 生きていくために必要なもの

ユーモアをうまく使うと慰めいたわることができる

2,500名の看取りを通して私はたくさんの患者さんからいたわりを受けました。患者さんはユーモアの心を持っておられるし、笑いたいと思っておられるんです。

乳がんの肺転移で衰弱が進み寝たきりのTさんに、「いかがですか」と問いかけると「おかげさまで順調に弱っています」と答えられました。私は笑った後で、いたわっていただいたと思いました。医者は、一生懸命治療して治っていただいたということで生きがいを感じるのが普通なんです。それをわかっておられて『先生、申し訳ない。でもこれも先生のお仕事ですからね』そんな気持ちで言うてくださった。ありがたかったです。

数年前の国際学会で英国の女医さんが素晴らしい話をされました。すい臓がん末期の方との会話「先生、だんだん弱ってきて2、3日で向こうへ行く気がします」「向こうって天国のことなんですか?」「天国でも地獄でもどっちでもいいんです。どっちにもたくさん友だちがいます」。この患者さんは『看取るって辛いだろうな。どうしたら先生に恩返しができるかな』という気持ちだったんだろう。患者さんにいたわられたと思ったそうです。

肝臓がんが進んだNさんが「食欲もなく食べ物の好みも変わってあっさりした物しか食べられない」と言うので「昔は何が好きだったんですか?」と尋ねると答えは「お金」。私もナースも家族も大笑いしました。でもちょっと不自然さを感じて、回診が終わってから患者さんのところへ行くと「だんだん弱ってきて、家族が沈んで鬱々としている。担当の看護師さんも見舞客も気の毒そうにしている。私、それって嫌なんです。なんとかみんな笑いたかった」と言われた。笑い

医者川柳 (講師作)

- 脳外科に頭が切れない
- 医者もいる
- 精神科自分もおかしい
- 医者がいる
- 眼科医に目先が見えない人もいる
- 耳鼻科医に鼻がきかない人もいる
- 腹部外科腹を割らない医者もいる

腹割って話してわかった腹黒さ

ユーモアは遺伝子に組み込まれているのではないかとさえ思うんです。

ホスピスのユーモア療法

決定的弱者である患者と医療の距離を縮める

回診時に川柳のやり取りをする直腸がんのHさんの句「寝て見れば看護師さんは皆美人」。ナースが「じゃ、座ったらだめなの?」と訊き「えっ、そういう意味ではないんです」。場が和むんですね。笑いは医療者と患者さんとの距離を縮めますね。入院すると患者さんは弱者意識が強くなるが、一緒に笑うことができるといっぺんに上下関係が緩和されるというメカニズムがあるんですね。

肺がんで衰弱が進み残りの時間が短くなったEさんの回診で「先生、あと数日の感じですよ。先に行きますから先生も来てくださいね」と言われた。そういうふうに見える仲になれたかと思っとうれしかったんですが。

次の事例は深い教訓を与えてくれました。乳がんが脳にも転移し記憶力障害が出てきたFさん。「まあまあ、こんな狭いむさくるしい所へよくおいでくださいました」という。後でナースに「彼女、少しボケ症状が出てきたね。病院か家か場所も分かりにくくなってよ」と気軽に言うと「そんなことはありません。私調べてきます」と患者さんの所へ行き、手を取って少し振って「ここ、どこかわかる?」と尋ねた。「手首の付け根でしょう」。戻ってきたナースは目を潤ませて「場所、ちゃんとわかってました」と言った。ナースは皆、担当の患者さんがそういう状態になってほしくないという気持ちを持っている。私がわざわざ言ってしまったので反発したんです。

ユーモアは立場の壁を崩す

取材に来た雑誌記者がガチガチに緊張していた。何とかしないと進まないと思ったときに趣味を聞かれたので川柳を紹介したんです。「窓際もせめていきたい南側」「窓際の頃が懐かし窓の外」。彼はすごく笑った。それで彼と私の間にあった壁がストーンと落ちたんですね。

昔からいる末期がんの人が回診に行くとき必ず起き上がって「先生、ご苦労様です」と頭を下げられる。もっとリラックスして日々を過ごしましょうといくら言葉で言ってもダメなんです。ホスピスでは誕生日を迎えた方に花を贈ることにしているんですが、ふと思いついて「お歳の数だけ贈呈するんですよ」と言いました。カスミソウが混じっていたんです。次に行くと顔つき

が変わっていました。「あれから一生懸命数えたらちょうど87ありました」と言われる。通じたと思って本当に嬉しかったです。彼と私の間にあった立場の壁が見事に崩れたんです。

ユーモアとは愛と思いやりの現実的な表現

ドイツにはユーモアというのは「愛と思いやりの現実的な表現である」という定義があります。立場の壁を崩した例もそうですね。もう一つ私のホスピスの実例。痛みが取れ笑顔が戻って食事と睡眠もとれるようになれば、往診や訪問看護などケアしていけばしばらく家で過ごすことができる。患者さんは「不安なんですけど退院して大丈夫でしょうか?」と言われる。「体力もだいぶ回復して少なくとも医学的には退院できる。太鼓判押せますよ」と答えると「本当に太鼓判押せますか?」と尋ねる人があるので太鼓判を特注したんです。肺がんの人は胸に、胃がんの人はお腹に押します。すごく喜んでくださる方と効かない方があり、その辺はナースがよくわかっているので、チームで決めることにしたら成功率が随分上がりました。これも愛と思いやりの現実的な表現ですね。

食道がん末期で固形物がほとんど通らない女性、本人も食べたいし私たちも何とか食べさせてあげたい。「物が通らない」と辛そうに言われる。そのときユーモアだぞという思いを込めて「トロぐらいだったらトロトロと通るかもしれませんね」と言ったんです。そしたら患者さんが「私も一日トロトロ寝てないで、トロに挑戦してみますかね」と。あっ、よかったですと思いました。極めつけはご主人が「私もトロい亭主ですが、トロぐらいなら買いに行きますよ」と言い、すぐ市場でトロ3切れを買ってきた。そしたら2切れ食べられたんです。びっくりしました。臨床心理学の大家の河合隼雄先生と雑誌対談をした際にこの話をしたら「それいい、学会誌に投稿したらどうですか。投稿論文の題名を決めました」と言い「ユーモアのセンスが食道の狭窄をトロかした貴重な一例」彼なりの練られたユーモアで返してくださったんですね。

ダジャレは頭に浮かんだことを何も考えずに口から出すから周りのひんしゅくを買う。ユーモアは浮かんだ面白味を一旦飲みこむ。そしてこれはユーモアだぞという意気込みで口から出す。

Coping Humor (対処・対応する)

ユーモアをストレス軽減のために使う

俳句が趣味の直腸がんの男性が「先生、やっぱり俳句より川柳がいいです。俳句は春夏秋冬、四季にうるさいでしょう。私のような末期患者は四季(死期)を考えなくてもいい川柳がいいです」と言われた。すごいなと思いました。その後患者さんは急速に弱ってきかたんですが、ご夫婦の懇願で正月に2泊3日の最後の自宅での時間を過ごされました。病院に戻って「これで旅立ってます」と言われた。しばらくして奥さんが、主人の姿を見て川柳を作ったと見せて下さいました。「がん細胞 正月ぐらいは寝て暮らせ」じっと見ているうちに、句の向こう側にある奥さんの辛さ、堪えている姿がじわっと迫ってきました。奥さんはこの句を作ることで辛さ、悲しさを少しだけ横へずらすことが

できたんじゃないかと思います。

ユーモアは人間だけに与えられた、神的と言ってもいいほどの崇高な能力である (V. フランクル)

一見絶望的で逃げる途が見えないような状況においても、ユーモアはその事態と自分との間に距離をおかせる働きをする (V. フランクル)

フランクルの言葉に「自己距離化」というのがあります。「ユーモアによって、自分自身や自分の人生を異なった視点から観察できる柔軟性や客観性が生まれる」という。夫が死を迎えるという辛さ悲しさと自分の気持ちがピタッとひっついてしまうとたいへんだが、ちょっとした距離をおくことができれば少しましになる。奥さんは「がん細胞正月ぐらいは寝て暮らせ」という川柳を作ることで自己距離化を図ったということです。

もう一つ、直腸がんの手術を受けないといけない患者さんの実例です。担当の執刀医が若い上に全身から頼りなさを感じさせる。「先生、大丈夫ですか?」と訊きたいが絶対に訊けない。不安が渦巻きナースに川柳を託した。「お守りを 医者にも付けたい手術前」見せられた担当医は面白いと笑ってすぐに病室へ行った。そして「自分は若く見られるがかなり歳を食っており、大腸がんの手術ではこの一円で右に出る者はいない」と告げた。患者さんは大ウソだとわかっているが、安心させようとしてくれていることは通じて「安心しました。よろしく願います」と心から言えた。ユーモアのセンスと自己距離化が医師と患者の信頼関係を回復したんですね。

ユーモアのはたらき

一番大きいのが『楽しい雰囲気を作り出す』ということ。それから『緊張の緩和』。前述の窓際の川柳は営業マンの緊張緩和に役立った。さらに『タブーへの言及、攻撃欲求の表出を可能にする』。執刀医に「先生、大丈夫ですか?」なんてタブーだから絶対に訊けない。「お守りを医者にも付けたい手術前」というのは、ユーモアというオブラートに包んでタブーに言及しているわけです。またユーモアは『新しい視点を提供すること』もできます。『優れたユーモアセンスを示すことで人格的に高く評価される』。うまく使わないと両刃の剣になるので注意が必要です。最近解明されているのは『健康を促進する』ということ。笑いの効用として、面白い漫才を聴いた後の血液検査で免疫力を高める細胞の活性が上がるのが実証されています。また『社会の潤滑油である』ということ。『ストレスの発散を可能にする』『怒りを治めることができる』。私は現役時代にユーモアノートを作りました。ナースが夕方から夜にかけて患者さんとの間にあった面白い場面を書いて、翌朝来たナースがそれを読んで笑う。そうすると『チームが結束する』『士気を高める』『生産性を高める』『コミュニケーションの促進にもなる』。

笑いとユーモアというのは非常に大きな働きをするということを今日はお伝えしました。

ご寄付・ご支援ありがとうございます

いのちの電話の運営は、皆様からの浄財によって賄われております。2016 年度上半期 (2016.4/1 ~ 2016.9/30)

に賛助会費や寄付金等を頂戴した皆様のお名前 (敬称略) を記し、感謝の意を表します。又、お名前は省略しますが物品寄付も沢山頂戴しました。ありがとうございます。今後ともどうぞ宜しくお願いいたします。

賛助会費

(752,000 円)

<個人>	青山 周広	穂山富太郎	新井 弘子	荒川 明継	井口 元孝	石川 慶子	石橋 俊秀
泉 博正	井石 哲哉	井石八千代	市川 雅夫	井手 保則	稲澤 陽三	稲田 栄司	井之上早苗
今村由紀夫	岩永美智代	大川理恵子	小中恵理子	小野 靖彦	尾上 重道	鍵原 恵子	鍵原 行雄
片岡寿美子	片山 仁志	金子 博行	菅野 房子	北島 陽夫	木下 洋子	木村 令子	楠本 誠人
近藤 松美	柴田 芳男	陣内恵美子	末吉 征志	鈴木キヨミ	瀬頭 敬子	千住 博	隆杉 正和
中上 末明	中島 一成	中村 逸雄	中村 尚達	二宮 治美	野口 純江	萩原 康雄	橋場 邦武
馬場 昭代	林田 清	林 敏明	原口 俊哲	平坂 治子	藤澤久美子	堀田 征子	本田 隆一
牧 千尋	町田トシエ	松本 汎人	南 秀雄	峰松 弘子	三原 茂	三矢 泰彦	宮本 孝治
牟田 義人	本川 正和	森 茂子	森田 節子	安日 泰子	山田 和子	山田 浩文	山田 佑子
山本 妙子	横田 実	吉田 晴久	渡辺 明美				

<法人・団体>

- | | | | |
|-------------------|---------------------|---------------|--------------|
| * (有)オーケー薬局 | * 九州北部税理士会 長崎支部 | * 光源寺 | * 光洋石油株式会社 |
| * 崎永海運株式会社 | * 司法書士法人 吉田合同事務所 | * 常在寺 | * ダイエー工業株式会社 |
| * (株)大通エージェンシー | * (株)チョープロ | * 医療法人 稲仁会 | * 長崎純心大学 |
| * 日光タクシー株式会社 | * 波多野アンドパートナーズ会計事務所 | * (医)陽明会 宮原病院 | * 平坂製薬株式会社 |
| * (株)文明堂総本店 | * (医)増田整形外科 | | * (株)吉本ハイテック |
| * 弁護士法人優 わかば法律事務所 | | | |

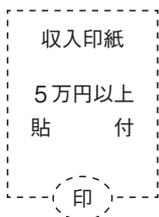
寄付金

(1,719,200 円)

<個人>	熱田 絵美	荒木 迪子	入江 浩	入山 和明	内村 公義	内野 裕子	大石 政江
太田久美子	大脇 京子	岡 六四	奥村 典男	尾崎 節子	押測 礼子	落 忠男	川口 幸義
川越 孝洋	川崎 眞理	川端 辰長	木下 洋子	小杉 修代	澤田 修	鹿谷 隆朗	下條 博文
下山 高生	下山 時生	進藤 義則	菅村利江子	砂川 久子	平 稔	高島 恭子	高橋 裕次
田上 春幸	瀧 紀雄	田中 直孝	田村 繁幸	遠山 杏子	鳥巢 維文	中田 慶子	長田 由美
中根 允文	中村 尚志	野島 一彦	馬場 昭代	原田美佐子	平川 厚子	廣中 郁朗	深堀千恵子
福島 建一	藤村栄三郎	藤本小枝子	船山 忠弘	古川サキ子	本田 圭助	本多 文子	牧 多津江

(ご注意)

- ・この用紙は、機械で処理しますので、口座記号番号及び金額を記入する際は、枠内にはっきりとご記入ください。また、本票を汚したり、折り曲げたりしないでください。
- ・この用紙は、ゆうちょ銀行または郵便局の払込機能付 ATM でもご利用いただけます。
- ・この払込書をゆうちょ銀行または郵便局の渉外員にお預けになるときは、引換えに預り証等を必ずお受け取りください。
- ・この用紙による払込料金は、ご依頼人様が負担することとなります。
- ・ご依頼人様からご提出いただきました払込書に記載されたおところ、おなまえ等は、加入者様に通知されます。
- ・この受領証は、払込みの証拠となるものですから大切に保管してください。



この場所には、何も記載しないでください。

※ シン目で切り取ってご利用ください。申し訳ありませんが、払込手数料はご負担ください。

牧 俊夫 松尾みち子 松田 京子 松本真理子 宮崎 涼子 宮田 雄吾 村井 貞子 森 敬子
 山下 末喜 山田 美保 山本 幸子 山脇 進 渡邊 才人 匿名2名

<法人・団体>

- * 石丸内科・胃腸科医院
- * 江崎社会保険労務士事務所
- * 大坪整形外科
- * 大村さくら法律事務所
- * 学校法人 活水学院
- * 木村内科・循環器科
- * (医)協仁会 共立耳鼻咽喉科
- * 一般社団法人 佐世保市医師会
- * 佐世保東ロータリークラブ
- * じゅうばし内科医院
- * 十八銀行本店 総務部
- * 社会医療法人春回会 井上病院
- * 株式会社 信和
- * (医)すがさきクリニック
- * 園田司法書士事務所
- * (医)清潮会 三和中央病院
- * つねだ形成外科医院
- * (有)デーリー通信機器
- * 長崎清和法律事務所
- * 長崎北ロータリークラブ
- * 長崎キリスト教協議会 長崎平和記念教会
- * (株)ニータックハマナカ
- * (医)厚生会 虹が丘病院
- * (株)中島工業
- * はやし小児科
- * (有)パルハウス
- * はざま神経内科・内科医院
- * (医)厚生会 道ノ尾病院
- * 恵の丘長崎原爆ホーム
- * もりなが協同法律事務所
- * (医)厚生会 道ノ尾病院
- * 明練寺

資金援助ボランティアとして活動を支えて下さい

「長崎いのちの電話」は、相談員をはじめ
 全てボランティアで運営されており、その
 活動は寄付金・賛助会費・助成金で賄われ
 ています。あなたも“資金援助ボランティ
 ア”として「長崎いのちの電話」を支えて
 くださいませんか。ご協力をよろしくお願
 いいたします。

税制上の優遇措置があります

個人の場合：所得控除・個人県民税控除
 が受けられます。
 法人・団体の場合：損金算入が受けられ
 ます。

毎年一定の資金援助して下さる方は、賛助
 会員となります。

★賛助会費

個人会費：1万円・5千円・2千円
 法人会費：5万円・3万円・2万円・1万円

★寄付金 金額は随意です。随時お受けいたします。

ご送金先 郵便振替 01870-3-40716

加入者名「社会福祉法人 長崎いのちの電話」

- ※下部の払込取扱票を切り取ってご利用いただくと便利です。
- ※申し訳ありませんが、払込手数料はご負担ください。
- ※払込手数料は、郵便局窓口：120円 ATM：80円です。
 3万円以上は、各々330円、240円となります。

●「銀行振込み」をご希望の方は、事務局までご連絡ください。
 事務局 TEL 095-843-4410

払込取扱票

口座記号・番号はお間違えのないよう記入してください。

00	口座記号 01870-3	口座番号(右詰で記入) 40716	金額	千	百	十	万	千	百	十	円	
加入者名	*(社福) 長崎いのちの電話		料金									
通信欄	<input type="checkbox"/> に✓を入れ、賛助会費または寄付、金額をご指定ください。 <input type="checkbox"/> 賛助会費 個人会費 <input type="checkbox"/> 10,000円 <input type="checkbox"/> 5,000円 <input type="checkbox"/> 2,000円 法人・団体会費 <input type="checkbox"/> 50,000円 <input type="checkbox"/> 30,000円 <input type="checkbox"/> 20,000円 <input type="checkbox"/> 10,000円 <input type="checkbox"/> 寄付 (金額は随意です)											
ご依頼人	おなまえ		日									
ご依頼人	おなまえ		附									
ご依頼人	おなまえ		印									

振替払込請求書兼受領証

口座記号番号	01870-3	40716	金額	千	百	十	万	千	百	十	円	
加入者名	*(社福) 長崎いのちの電話		おなまえ									
ご依頼人	おなまえ		日									
ご依頼人	おなまえ		附									
ご依頼人	おなまえ		印									

※申し訳ありませんが、払込手数料はご負担ください。

この受領証は、大切に保管してください。

各票の※印欄は、ご依頼人様においてご記入ください。

記載事項を訂正した場合は、その箇所に訂正印を押してください。

裏面の注意事項をお読みください。(ゆうちょ銀行)
 これより下部には何も記入しないでください。